

点眼後まぶた閉じ数分

もっと広がる
◆クスリの世界

目薬

目薬（点眼薬）は、緑内障や白内障の療をはじめ、花粉症の季節には目のかみを和らげ、炎症を抑えるために使われています。とてもなじみのある薬です。皆さんは正しく使えていますか。点眼液を使う前にまず、手をせっけん流水でよく洗います。下まぶたを軽くこひき、1滴を確実に点眼します。こ

の時、容器の先がまぶたやまつげ、目に触れないよう注意してください。点眼後は、まばたきせずにまぶたを閉じ、あふれた薬液を清潔なガーゼやティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。そのまま1～5分ほどまぶたを閉じるか、涙のう部（目頭のやや鼻より）を指先で軽く押さえてください。

使い終わったらしっかりキャップを閉め、投薬袋などに入れましょう。直射日光は避け、なるべく涼しい、子どもの手の届かない場所に清潔に保管してください。

容器には、開封前の使用期限が記載されています。開封後は1カ月を目安とし

て使用し、残った薬液は保管せずに廃棄してください。薬液の中に異物や濁りなどが認められた時は、1カ月以内であっても使用を中止してください。

指示された用法、用量は正しく守りましょう。液体の中に固体の微粒子が分散した懸濁性点眼薬は、よく振ってから使いましょう。2種類以上の点眼薬を使うときは、5分以上の間隔を空けましょう。抗生物質の点眼薬の中には、冷所に遮光保存し、7日以内に使用するものもあります。期限を越えて使用した場合、期待される効果が得られない可能性があります。

コンタクトレンズ装着中の点眼や、使

用中に気になる症状が現れた場合は、医師または薬剤師に相談してください。また、点眼液とよく似た容器に入った薬があります。それらの容器には、「目には入れないこと」と赤字で書かれています。誤って点眼しないよう注意してください。

（伊藤 邦彦・県薬剤師会常務理事、
県立大薬学部教授）

◇

3月まで夕刊に掲載した「ちょっと得るクスリの知識」がリニューアルしました。薬に関する情報を、より多面的にお届けします。月1回掲載します。

<毎月第4火曜日に掲載>